

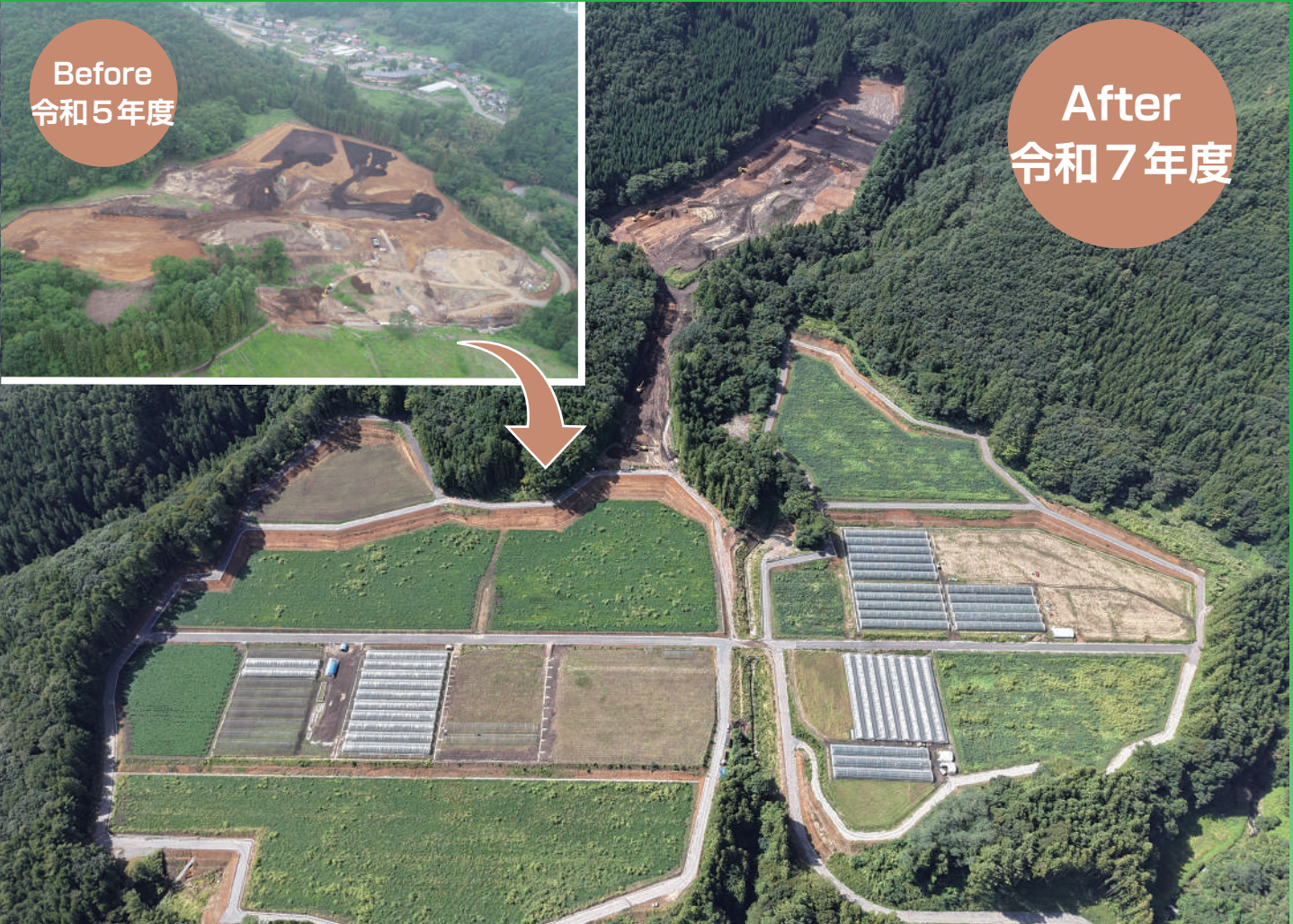


# 議会だより

Before  
令和5年度



After  
令和7年度



## CONTENTS

- ◆ 第5回定例会（9月議会）で決まったこと ..... 2 ～ 6  
（一般会計及び特別会計決算・補正予算・条例の一部改正・質疑事項）
- ◆ 一般質問 ..... 6 ～ 7
- ◆ 常任委員会 ..... 8 ～ 11
- ◆ 話のたね（牛の平基盤整備事業）..... 12
- ◆ ようこそ有権者 ..... 13
- ◆ 議会活動日誌 ..... 14

# 第5回定例会

【9月4日～12日】

## 令和6年度一般会計決算

歳入決算額	49億8,195万1千円
歳出決算額	45億2,899万6千円
繰越明許費繰越額	3,819万7千円
実質収支額	4億1,475万7千円

### 内 訳

基金へ繰入	2億2,000万円
令和7年度予算へ繰越	1億9,475万7千円

年度末村債（借入金）現在高	40億6,009万2千円 (前年度比1億5,774万3千円減↓)
年度末基金（預金）残高	36億372万9千円 (前年度比4億2,339万6千円増↑)

※千円未満を四捨五入（基金残高は切り捨て）しています。

令和7年第5回片品村議会定例会が、9月4日～12日までの9日間にわたり開催されました。

「令和6年度一般会計、3特別会計及び2事業会計の決算認定」「令和7年度一般会計、3特別会計及び1事業会計の補正予算」「条例の一部改正」「財政の健全化判断比率等の報告」「片品村振興公社の経営状況の報告」「物件売買契約の締結」等が提案され、いずれも全員賛成で原案どおり可決しました。

## 令和6年度特別会計決算

会 計 名	歳入決算額	(うち、一般会計から繰入)	歳出決算額	実質収支額	実質収支額の内訳	
					基金繰入金	令和7年度へ繰越
国民健康保険	6億4,501万円	(3,820万7千円)	6億1,821万3千円	2,679万7千円	1,400万円	1,279万7千円
介護保険	6億7,668万2千円	(9,659万4千円)	6億4,565万6千円	3,102万6千円	1,600万円	1,502万6千円
後期高齢者医療	7,639万9千円	(2,480万9千円)	7,636万1千円	3万7千円		3万7千円
合 計	13億9,809万円	(1億5,961万円)	13億4,023万円	5,786万円	3,000万円	2,786万円

※千円未満を四捨五入したことにより、集計した際に誤差が出る場合があります。

## 令和6年度事業会計決算

会 計 名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
簡易水道事業	1億2,457万1千円	1億2,253万3千円	698万6千円	1,679万3千円
下水道事業等	1億7,008万1千円	2億1,500万3千円	860万円	4,587万7千円

※千円未満を四捨五入したことにより、集計した際に誤差が出る場合があります。

## 借入金・預金の残高

会 計 名	年度末村債他（借入金）現在高	年度末基金（預金）現在高
国民健康保険	0円	1億4,375万5千円
簡易水道事業	1億8,292万円	4,650万円
介護保険	0円	2億1,091万9千円
下水道事業等	4億5,696万7千円	0円
合 計	6億3,988万7千円	4億117万5千円

※村債他現在高は千円未満を四捨五入、基金現在高は千円未満切り捨て。





チェック  
します



# 監査委員の審査意見

## 村債

▶令和6年度の村債は、3億6,500万円である。消防可搬ポンプ積載車購入、村道の舗装維持修繕工事、土出グラウンド整備工事などのハード事業の他、スクールバス管理運営などのソフト事業にも充当されている。

## 介護保険

▶介護保険については、高齢化がさらに進む中、引き続き高齢者に対する介護の問題が大きな課題となっているが、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく人生を全うできるよう介護サービスの充実に努力していただきたい。

## 後期高齢者医療

▶後期高齢者医療の令和6年3月末現在の被保険者は918人であるが、引き続き迅速かつ適正な各種医療給付の実施に務めていただきたい。

## 簡易水道事業・下水道事業

▶令和6年度から簡易水道事業及び下水道事業は、保有資産の価値や事業の経営状況を的確に把握するため、地方公営企業法の一部（財務規定等）を適用し、複式簿記・発生主義の公営企業会計に移行した。

- ・簡易水道事業については今後も持続可能な水道運営を目指し、計画的な施設更新、効率的な維持管理に努めていただきたい。
- ・下水需要の動向を見据えながら、住民の生活環境の向上や村の自然環境保全、河川の水質保全の立場から下水道事業区域外の整備計画も同時に進め、村全体の整備が進むことを望む。

## 村税

▶村税の収納率は82.5%であり、前年度より0.7ポイントの減となり、収入未済額は1億3,421万6,723円で、前年度より7万9,431円の減となっている。収入未済額については、固定資産税が多くを占めていて、今後も引き続き早期の滞納整理など適切な処理が必要である。

## 地方交付税

▶地方交付税は23億2,794万円で、前年度より1,850万9,000円の増収となっており、歳入総額の46.7%を占めている。

## 国民健康保険

▶国民健康保険税の収納率は82.0%で、前年度より0.2ポイント高くなっている。療養諸費に対する1人あたりの保険者負担分は27万5,527円（年間）で、前年度より647円微増している。被保険者の高齢化や医療の高度化、医薬品の高額化等による医療費の増大など、非常に厳しい運営が予想される。

## 総括

▶一般会計及び特別会計の決算は正しく、証拠書類も良く整理され、会計経理は適正である。地方分権と行財政改革、人口減少及び少子高齢化への対応や住民福祉の拡充など様々な行政問題が山積する中であるが、住民のニーズをできるだけ速やかに把握するとともに、計画的、かつ、効率的な行財政の運営と安定した事業計画の立案に心掛け、住民福祉の向上や明るく活気ある村づくりのための施策を望むものである。

## 令和6年度

## 片品村振興公社(株)の経営状況の報告

公社の総売上 6億3,635万2千円

公社税引前の当期利益額 959万3千円

公社税引後の当期利益額 817万1千円

## 事業概要

### ▶ 花の駅・片品「花咲の湯」

入館者数 114,937人（前年度127,372人）  
（村外利用者 88,642人、77.1%）  
売上代金 +1億4,167万6千円  
仕入代金 -3,676万3千円  
販売管理費 -1億2,449万8千円  
営業外損益 +416万3千円  
税引前の当期損失額 ▲1,542万1千円

### ▶ 道の駅・尾瀬かたしな

利用者数 197,675人（前年度188,139人）  
売上代金 +1億9,864万8千円  
仕入代金 -7,636万5千円  
販売管理費 -9,944万7千円  
営業外損益 +10万円  
税引前の当期利益額 2,293万6千円

### ▶ 寄居山温泉「ほっこりの湯」

入館者数 32,503人（前年度33,419人）  
（村外利用者 20,927人、64.4%）  
売上代金 +1,550万7千円  
仕入代金 -136万7千円  
販売管理費 -1,166万8千円  
営業外損益 +1万3千円  
税引前の当期利益額 248万5千円

### ▶ アウトドア事業所（ほたか牧場キャンプ場） オグナほたかスキー場

利用者数 72,741人（前年度51,379人）  
売上代金 +2億8,052万1千円  
仕入代金 -2,394万8千円  
販売管理費 -2億6,134万1千円  
営業外損益 +436万2千円  
税引前の当期損失額 ▲40万6千円

## ▶ 財政の健全化判断比率の報告

(単位：％)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和6年度	－（赤字0）	－（赤字0）	5.9	－
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0

\* 片品村のそれぞれの比率については早期健全化基準に該当せず、大変良好な比率となっています。



### ワンポイント解説

#### 実質公債費比率

村税や交付税などの収入に対して、借金返済額がどの程度の割合になるかを示す指標です。\* 数値は小さいほどより健全です。

## ▶ 片品村の公営企業の資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	備 考
簡易水道事業会計	－	資金不足なし
下水道事業会計	－	資金不足なし



### ワンポイント解説

#### 資金不足比率

資金不足による経営状況の悪化の度合いを示す指標です。

\* 資金不足が無い場合は「－」表示、20％以上は経営健全化計画を定めなければなりません。

## 令和7年度9月補正

(単位：千円)

会 計 名	歳入歳出補正前	補 正 額	補 正 後
一般会計	4,265,961	251,064	4,517,025
国民健康保険	695,465	9,340	704,805
介護保険	674,836	30,928	705,764
後期高齢者医療	78,252	1,702	79,954
下水道事業 収益的支出	213,114	3,100	216,214

## 主な一般会計補正

(単位：千円)

歳 入		歳 出	
地方交付税	46,616	議会費	1,238
使用料及び手数料	81	総務費	178,269
国庫支出金	24,002	民生費	2,695
県支出金	507	衛生費	2,379
財産収入	7,044	農林水産業費	2,754
寄附金	5,700	商工費	29,890
繰入金	▲95,561	土木費	18,700
繰越金	144,757	教育費	15,139
諸収入	114,818		
村 債	3,100		
合 計	251,064	合 計	251,064

令和7年度  
補正予算

# 片品村条例の

## 一部改正

### ☆片品村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律により、「育児時間の取得パターンの多様化」や「仕事と育児の両立支援の拡充」等に対応すべく、関係条例の一部を改正するもの

### ☆片品村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律により、「育児時間の取得パターンの多様化」や「仕事と育児の両立支援の拡充」等に対応すべく、関係条例の一部を改正するもの

### ☆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

民生児童委員一斉改正に伴い、片品村民生委員推薦会委員及びいじめ重大事態に対応するため、いじめ重大事態第三者委員を別表に追加し、片品村保育所のあり方検討委員会委員を別表から削除する条例の一部を改正するもの

### ☆片品村営スノーパル・オグナほたか施設利用料徴収条例の一部改正

長引く物価高騰、最低賃金の引き上げ等により、経費節減を強化しても影響は避けられず今後、運営を維持していく上で、リフト料金の値上げをせざるを得ないため、条例の一部改正をお願いするもの

## 締結

### 物件売買契約の締結について

- 契約の目的 GIGA スクール構想第2期に向けた児童生徒1人1台端末の整備
- 品名種類及数量
  - (1) 品名 ASUS Chromebook CR12 Flip
  - (2) 台数 230台
- 契約の方法 総合評価方式一般競争入札(群馬県に委任)
- 契約金額 11,511,500円
- 契約の相手方 群馬県高崎市高松町3番地  
NTT 東日本株式会社 群馬支店  
支店長 田島 裕
- 納入期限 令和7年12月31日

## 承認

### 専決処分の承認

※令和7年度片品村一般会計補正予算(第2号)を専決処分したことについての承認を

・一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出補正前	補正額	補正後
42億5,596万1千円	1,000万円	42億6,596万1千円

アサヒビール株式会社による企業版ふるさと納税対象事業として選定されたことを受け、地域活性化推進の観点から当該事業を速やかに実施する必要があることから、補正予算を専決したものの。(令和7年7月16日専決)

## 報告

### 専決処分の報告

#### ○工事変更請負契約の締結

令和6年議案第48号で承認された村道 桐ノ木橋橋梁補修工事について、変更請負契約を専決処分により締結したことの報告で、変更前の契約金額6,710万円を8,864万9千円に変更したものの。

#### ○工事変更請負契約の締結

令和6年議案第49号で承認された村道戸倉・富士見下線 落石防止網設置工事について、変更請負契約を専決処分により締結したことの報告で、変更前の契約金額7,040万円を7,453万6千円に変更したものの

## 人事

### 片品村固定資産評価審査委員に

#### 星野 幸男 氏

片品村固定資産評価審査委員の、星野幸男氏が令和7年9月30日で任期満了となりますが、引き続き、星野幸男氏(花咲)が任命されました。

### 人権擁護委員候補者には

#### 萩原 茂樹 氏を推薦

人権擁護委員の、桑原護氏が令和7年12月31日で任期満了となるため、萩原茂樹氏(土出)が推薦されました。



## 第5回定例会

## 質疑事項

飯塚 美明 議員

**問** 令和7年度一般会計補正予算(第3号)観光費で、バナラビーンズ事業として片品村観光協会に補助金900万円となつていますが、この事業を行う事業主体はどこか伺いたい。

**答**(むらづくり観光課長) バナラビーンズ栽培実証実験事業について

○概要

片品村観光協会が代表となり、旧武尊牧場にあるパイオマス発電より出る排熱を活用してバナラビーンズの栽培実証実験を行うため、その費用の一部について片品村観光協会に運営補助金を助成します。

○費用(総事業費)

2千856万4千円。  
2/3の1千914万7千円は県の補助金、残りの900万円を村費にて補助。

○主な費用の内訳

・熱の供給費 約560万円  
・ハウスの設置費 約550万円  
(ハウス約52坪)  
・栽培設備設置費 約970万円  
・その他経費 776万円

○実施体制

3社による連携体

①(一社)片品村観光協会  
(\*代表)

バナラビーンズの地産

地消、販路の構築

②東京パワーテクノロジー(株)

バナラビーンズ試験栽培

オペレーション全般

③スマートグリーン

エネルギー片品株

パイオマス発電から出

た熱の安定供給

**問** この様な事業を行うことについて、片品村観光協会の定款にあるか。

**答**(むらづくり観光課長) この事業における観光協会の役割は「観光開発促進と他産業との協調を保持し、片品村経済の発展に資する事業」となっており、観光協会の定款における事業の「観光資源及び観光事業の調査研究に関すること」と一致しています。



バナラビーンズの栽培(参考資料)

村政を問う!

一般質問



小林 政彦 議員

村長の任期満了に伴う  
今後について

**問** (1) 令和3年に片品村長に再選されて以来、持ち前の社交性と行動力を駆使し、その類い希なる手腕を発揮して村政運営にあたってこられました。が、この4年間で具体的にどのような政策を進めてこられたのか、また、今後の施策についてはどのようにお考えなのか伺いたい。

**答**(村長)

令和3年11月の二期目

就任以来、「ともに創ろう!! ふるさと片品」のスロガンのもと、村民の皆様と協力し「小さくても輝く尾瀬の郷・かたしな」の実現を目指してまいりました。

今までの取り組みについては、次のとおりです。

○新型コロナウイルスへの対応として生活支援や地域通貨「おぜだっペイ」の導入など、村民生活と地域経済の両面で支援を実施。財政調整基金は27億円超に増加し、健全な財政運営に努める。

○環境負荷の軽減と地域資源の活用として、国内初のスキー場跡地を活用したパイオマス発電所の誘致が実現し、令和7年秋の稼働を予定。

○防災では消防団の全国大会入賞や国内初の地区

防災計画策定が評価され、防災まちづくり大賞を受賞。

○デジタル化と行政サービスの向上についての取り組みでは、マイナンバーカード取得率県内2位、税収向上、医療費無償化や保育所再編、給食完全無償化など福祉施策の充実。

○牛の平地区土地改良事業や施設整備補助などの農業支援や、森林環境譲与税を活用した森林管理、橋梁補修などの交通インフラ整備の推進。

○観光では星野リゾートの誘致やグランピング施設整備などを進めるとともに「尾瀬かたしな未来プロジェクト」をスタートし、地域活性化を推進また、「ゼロカーボンパーク」への登録や合宿支援事業も開始し、持続可能で地域間競争力のある観光地づくりを目指す。

○教育では中学生海外研修や教室のエアコン整備を実施し、スポーツ大会や全日本マスターズスキー選手権開催による地域交流も促進。

今後は戸倉ダム建設計画の再検討、定住促進、道路整備、森林ビジョン策定、高齢者の見守りと雪害対策などに取り組み、ふるさと納税の強化にも注力します。

特に力を入れているのが鎌田エリア再整備であり、役場庁舎や村営住宅の再整備、道の駅を核とした中心街の活性化を一体的に進めてまいります。今後も村民の声を大切にしなが、安心・安全で持続可能な地域づくりに努めてまいります。

**問** (2) 11月に任期満了となるが、これまでの2期8年間の実績を踏まえ、

3期目を目指すお考えがあるのか。

**答** (村長)

任期満了を迎えるにあたり、これまでの2期8年間、誠実・公平の理念のもと、村民の安心・安全・安定した暮らしの実現に全力で取り組んでまいりました。多様な施策を進めるとともに、人脈形成や新たな学びにも努めてまいりましたが、村づくりはまだ道半ばであると感じております。

これまでの経験と人脈を活かし、引き続き先頭に立って「小さくても輝く村づくり」に取り組み、片品村の将来的展望をより確かなものにするため令和7年10月に行われる村長選挙へ3期目の出馬を決意いたしました。引き続き、議会の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

## テーマ

### 村長の任期満了に伴う今後について



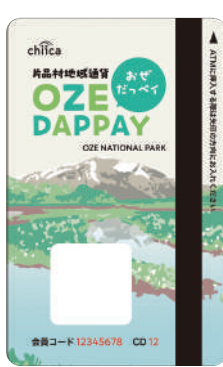
尾瀬かたしなゼロカーボンフォーラム



グランピング施設



地域交流スポーツ大会



おぜだっペイ



チッパー（木材破砕機）



# 常任委員会の活動

## 総務観光常任委員会

### 協議事項

令和7年度

補正予算について

**問** 財産管理費―村有土地建物管理―修繕費300万円はエアコン等の設置工事費との説明だが細部説明をお願いします。

**答**（総務課長）

尾瀬ハイツの空き部屋を利用して移住定住促進住宅としての活用を進めてまいりたいと考えており、それに伴い、尾瀬ハイツの1号棟、2号棟の全室にエアコンを導入するため、補正をお願いするものです。

内容は、単身用の部屋が14部屋、世帯用は2部屋合わせて16部屋、その全室にエアコンを設置したいという内容です。経緯ですが、片品村でも年を追うごとに暑くなり、移住定住を希望して

いる人を迎えるのに、片品村でも居住スペースにエアコンは必需品ではないか、更に、今後の夏の猛暑を考え、全室にエアコンを設置したいということと計上させていただきました。

所管事務について



鳩待休憩所

**問** 戸倉く鳩待間、今年から開始の村民対象無料バス利用者は102名程の申請とのこと。今回の実施は夏休みの期間ですが、来年度も実施するのなら、9月の土・日も対

応していただけると村民の方も参加しやすいと思います。検討をお願いします。

**答**（むらづくり観光課長）

今年度、初めて尾瀬かたしなゼロカーボンパーク実行委員会の事業として、「片品村民限定夏休み尾瀬バス乗車券無料事業」を7月19日～8月24日に実施し、申請者は計102人（大人90人、小学生以下12人）でした。

来年度も継続実施を検討しており、まずは費用負担をいただいた尾瀬片品乗合交通事業者連絡協議会や、地元の関係機関等と協議を進めてまいります。

実施期間につきましても、皆さまからの意見を検討材料にしていきたいと考えております。

村としては、多くの方に尾瀬の自然を日常的に楽しんでもらう中で、脱炭素に向けた取り組みに

も関心を高めていただけるよう努めてまいります。

**問** 村内の防犯灯・街路灯の設置には基準があるのか、また、電気代は各地区が負担していると思

われるが、人口減少により各地区の収入も大分減ってきており、電気代負担が重くなっているとの声があります。

また他市町村では防犯灯設置や電気代の補助があるようだが、片品村でも同様の取り組みができないか。併せて、各地区の電気代負担状況について、分かる範囲で説明していただきたい。

**答**（総務課長）

現在、防犯灯の明確な設置基準はなく、地区からの要望により修繕や新設を行っています。球切れなどの軽微な修繕は地区で対応し、器具本体が壊れた場合は村がLED防犯灯へ交換しています。現在ある防犯灯が壊れた



場合には、なるべく早めに対応ができるように心がけているところです。

令和6年度は新設3か所・修繕15か所で75万円ほどの経費がかかりました。

街路灯については、橋や公園などの公共施設と一体的に管理し、電気代も施設側で負担しています。

また防犯灯の電気代については、受益者負担の原則に基づき、現在は各地区にお願ひしているのが実情です。担当職員1人で村全体を管理するのは困難ということもあり、地区の費用負担と安全確保のバランスは各地区に任せているのが現状です。

しかし、人口減少により地区の負担が大きくなっている現状を踏まえ、今後は近隣市町村の状況を調査し、村としての対応を検討していきたいと考えます。なお、各地区の電気代負担額は把握し

ておらず、村が費用を負担するには、防犯灯、街路灯の設置箇所の把握や何かしらの基準を設ける必要があるため、併せて調査・検討を進めたいと思います。



防犯灯の設置

**問** 9月6日・7日開催の尾瀬かたしなまつり及びアカペラファンタジーフェスは天候にも恵まれたが、良かった面と反省点を伺いたい。

**答**（むらづくり観光課長）

6日の「尾瀬かたしなまつり」及び翌日の7日の「OZEかたしなアカペラファンタジーフェス」では村内外多くの皆様にご参加・ご協力をいただき、盛況のうちに終了す

ることができました。

各イベントの良かった点・反省点は次の通りです。

#### ◆ 尾瀬かたしなまつり

##### 【良かった点】

- ・来場者・参加者数が昨年より増加し、神輿や会場も賑わいました。
- ・スマドリによる企業版ふるさと納税でのご寄付もあり、提灯を設置し祭りらしい雰囲気が出せました。
- ・協賛の増加と好天により、花火大会も盛大に実施できました。

##### 【反省点・課題】

- ・来場者増に伴い、駐車場の確保が課題に。
- ・子ども神輿の距離（3往復）は負担が大きく、2往復案も検討が必要でした。

#### ◆ アカペラフェス

##### 【良かった点】

- ・約700名が参加し、会場が活気づき、出演

者・来場者ともに満足度が高いイベントになりました。

- ・村内宿泊は延べ約1400泊となったことによる直接的な消費の効果がありません。
- ・会場の出展販売に学生ボランティアの協力で、運営との一体感のある雰囲気形成されました。

##### 【反省点・改善点】

- ・ステージ配置により音の混ざりが発生。
- ・タイムスケジュールや会場図の掲示、食事スペースや動線の確保などに課題。

#### ◆ 今後に向けて

各イベントの反省会を10月に実施し、次年度に向けた反省事項や今後の改善点等について協議する予定です。

「尾瀬かたしなまつり」は、神輿渡御や花火大会といった伝統行事を残す・活かすことで、文化的

魅力としての価値を高める重要な行事ですし、アカペラフェスは、若者と地域を結びつけ、宿泊や消費を通じて地域に経済的・文化的な活気をもたらすイベントとなっております。

今後の継続と発展に向けて、ぜひご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



アカペラフェス

**問** 合宿・研修等支援事業2次募集期間12月1日～3月末の申込期間延長は可能になったのか、また2次の予算はどの位の予算規模が使えるのか伺いたい。

**答**（むらづくり観光課長）

◆2次募集期間について  
今年度の合宿・研修支援事業の1次募集は9月末までとなっており、現在、主に8月に合宿等行った各団体から申請実績報告の提出がピークとなっています。

2次募集分受付期間は、当初の予定からそのまま後ろ倒しとし、11月1日から17日までの期間を予定しています。

1次募集期間には150件超の申請があり、入力作業に時間を要したため、2次募集は、申請の負担軽減と効率化を図るため、オンラインフォームによる電子申請を導入予定で、申請期間は10月

15日からの申請開始を11月1日に遅らせ、17日まで募集受付を行う予定です。

◆2次募集の予算について

2次募集の予算は9月末までの1次期間が終了しておらず、実績額が出ていないため、実績額確定後、当初予算の残額ではカバーしきれない可能性がある場合は、12月補正予算での増額も検討しながら、決めていきたいと考えております。

（委員長 星野 吉弥）



# 常任委員会の活動

## 産業民教常任委員会

### 協議事項

#### 所管事務について

**問** 鳥獣駆除の件数（今年度と昨年度）を教えてください。

**答**（農林建設課長）

令和5年度から令和7年度8月末までの実績の数値を記載しております。（表1 参照）

（表1）	令和5年度	令和6年度	令和7年度 （8月末現在）
有害鳥獣駆除 全頭数	520	503	213
イノシシ	102	109	26
ニホンジカ	250	291	122
ニホンザル	23	15	17
ハクビシン	38	18	11
タヌキ	18	9	3
キツネ	10	2	1
カラス類	13	8	2
キジバト	18	6	3
ツキノワグマ	48	45	28

本年度の駆除数についても、昨年、一昨年と同等の駆除頭数となる見込みであります。

**問** 村内にジビエの処理施設や加工施設の設置は可能か。またジビエに用いられる鳥獣の種類について伺いたい。

**答**（農林建設課長）

群馬県ではジビエの処理施設は、箕輪フーズと南牧村自治体の施設2件のみです。新たに施設を造ろうとすると、1億円から2億円ぐらいのお金がかかるかと試算をしております。

補助金が半分程度、活用できますが、まずは捕れたニホンジカを箕輪フーズへ搬入し、どの程度食肉として流通ができるか見定めながら、今後、村内の加工処理施設については検討をさせていたいただければと思っております。



**問** またジビエ対象となる鳥獣ですが、一部解除とすることで許可をいただいているのがニホンジカのみとなっており、今のところ熊、イノシシについては、現時点で群馬県内では出荷制限が継続中でありま。

**答**（教育委員会事務局長） 現在では、和式トイレの需要は非常に少なく、

尾瀬ジビエ パンフレット



使い勝手も洋式のトイレがよいということもございます。こちらの件については、地区要望として対応させていただければと考えております。

今後、区長さんとも話をさせていただきながら検討させていただきたいと思います。

ご提案のあったやり方で進められるかどうかを検討させていただきます。

**問** 2025年3月の新聞記事に「利根沼田地域でDAOによるワイン造り」、群馬県ではDAO（分散型自律組織）を株式会社化し、地方創生の実証実験として本格始動することが発表されました。これは「利根沼田地域のワイン造りを通じて、関係人口や移住者の増加を目指す取り組み」との記事ですが、県は利根沼田地域をワイナリー特区にするような構想を考えているのでしょうか。

**答**（農林建設課長）

群馬県では、現時点で広域での特区取得の検討はされていませんが、今後、近隣の関係機関や生産組合と協議し、広域での特区取得を検討していく可能性があるとの話です。

**問** 群馬県から参加の打診があったと聞いていますが片品村はどのように考えていますか。

**答**（農林建設課長）

各自自治体の意向としては、みなかみ町・沼田市は参加希望、昭和村は不参加と聞いております。片品村としては、県の動向を注視し、関係者と協議を進めていきたいと考えています。

### ワンポイント

DAO（分散型自律組織）特定のリーダーは存在せず、その運営方法は参加者全員で意思決定をする組織のことです。

（委員長 小林 政彦）



常任委員会合同管内視察



山ぶどう生産組合員が栽培した山ぶどう



## 話のたね



## 牛の平地区

## ◆農地の整備が進んでいます◆

くふたたび実りある農地へく

片品村の南部、花咲地区の一角にある「牛の平（うしのたいら）地区」は、山々に囲まれた自然豊かな場所に広がる農業地帯です。

この地域は、これまで水の確保が難しいことや農地の形が整っていないこと、高齢化による担い手不足などにより、農地の集積化・効率化が大きな課題となっていました。このようなことから、令和2年度、県や村、関係機関が連携し、事業採択となり「農業基盤整備事業」が本格的にスタートしました。

令和7年度には1・2工区の補完工事及び、3



白小豆とトマト栽培のパイプハウス

工区の伐採・整地等の工事が実施されており、導水管路整備や排水機能の向上を図っています。

整備済み農地では、片品村の地域に合ったトマトや白小豆、そばなどの栽培を開始された方々もあり、地域農業の振興と中山間地域の活性化を目指しています。

## 新たな

## 挑戦!!

NEW CHALLENGE



星野 将斗 さん

今年から牛の平でトマト農家として新しくスタートしました!!



私は花咲の牛の平地区にて、父の農業を引き継ぎ、新規就農者としてトマト栽培に取り組んでいます。

もともととは別の仕事に就いておりましたが、父が高齢になり、農作業がきつくなってきたことをきっかけに農業を継ぐことを決意し、今年から就農しました。

現在は30aのパイプハウスでトマト栽培に挑戦しています。

農業は初めてのことで、戸惑うことも多くありますが、父や近所

の先輩農家の方々に教えを受けながら、日々、少しずつ技術を学んでいます。

土づくりや水やりのタイミング、気温や湿度の管理、病害虫への対応な



トマト栽培作業の様子

ど、毎日が新しい発見と学びの連続です。うまくいかないこともありすが、その一つひとつの経験を大切にしながら、少しでも良いトマトを育てられるよう努力しています。今後は、生産技術をさらに高め、将来的には直売所も行いたいと思っています。

牛の平地区には若手農業者が集まっており、先輩農家の方に栽培技術を学びながら、力を合わせて農業を盛り上げ、持続可能でやりがいのある農業を目指して、一歩ずつ前に進んでいきたいと思っています。



# 常任委員会

## 活動の様子



管内視察（立沢バイパス）



檜枝岐議会との交流連携事業

## Welcome ゆう けん しゃ ようこそ 有権者

### 政治に対しての意見

群馬県立尾瀬高等学校  
普通科 3年

星野 柚希 さん



若い世代の発想から  
社会を変える力へ

今の日本の政治は、多くの国民から十分な信頼を得られていない状況にあると考えます。物価高や少子高齢化、社会保障、環境問題など課題は山積していますが、政策の説明不足や実行力の弱さが不信感を招き、安定した施策が続かない結果、国民が政治から距離を置き、投票率の低下という「空席だらけの観客席」のような深刻な状況を生んでいます。しかし私たちは、その舞台に上がり関わる力を持

っています。政治を遠い存在ではなく身近な生活と結びつけて考えることが大切だと思います。投票に行くのはもちろん、めんどろがらず候補者や政党の政策を調べ、納得のいく形で選択する努力が求められます。特に若い世代である私たちは、将来を担う存在として、新しい視点や柔軟な発想を社会に届けられます。選挙での一票だけでなく、SNSでの発信や地域の取組に参加すること、社会を変える具体的な力となります。つまり、政治を「自分ごと」として捉え、声を上げ続けることが、より実効性のある政治を実現する道だと考えます。

### ○傍聴のお知らせ

#### 12月議会を傍聴しませんか！

次回定例会は、**12月5日(金)**の予定です。

一般質問は、開会初日です。一般質問の質疑応答は片品村公式ホームページ（HP）の議会録画中継にて動画を閲覧できます。

★スマートフォンでも  
ご覧いただけます。  
QRコードを  
読み込んでください。



### ○議会録画中継について

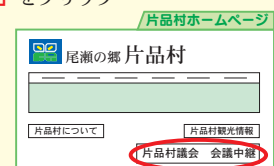
年4回の定例議会開会日の模様を動画（録画）配信していますので、是非ご覧ください。



#### 視聴方法

①片品村ホームページトップ画面右側のバナー「片品村議会 会議中継」をクリック

②「会議名でさがす」「議員名でさがす」どちらかをクリック



# 議会活動日誌



7月

10日 原水爆禁止国民平和行進議  
 14日 利根沼田地方総合開発協会合同会議  
 " 7月定例利根郡議長会  
 " 広域圏7月定例議員協議会  
 " 利根郡町村議会議長会感謝状贈呈式  
 16日 常任委員会合同管内視察  
 24日 令和6年度群馬県町村議会議長会  
 一般会計決算監査  
 26日 国道401号改良整備促進期同盟会総会  
 27日 第60回群馬県手をつなぐ育成会大会  
 30日 第44回川場まつり  
 " 利根沼田暴力追放推進協議会定期総会  
 " 広域圏7月議会定例会  
 " 利根沼田学校組合議員協議会  
 31日 第74回利根川治水同盟治水大会

8月

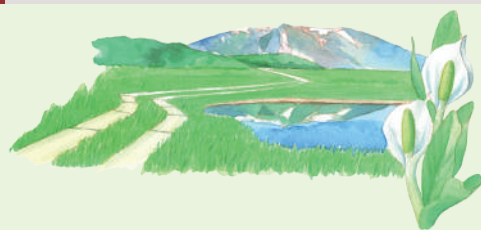
3日 沼田まつりオープニングセレモニー  
 8日 上下水道運営協議会  
 " 国民健康保険運営協議会  
 " 介護保険運営協議会  
 " 第2回尾瀬かたしなまつり実行委員会  
 14日 越本盆踊り大会  
 " 尾瀬戸倉納涼盆踊り大会  
 18日 広域圏8月臨時議員協議会  
 " 8月定例利根郡議長会  
 " 利根沼田学校組合 合同会議  
 " 利根沼田学校組合 議会定例会  
 21日 片品村民生委員推薦会  
 " 第5次片品村総合計画審査委員の委嘱  
 並びに審議会  
 25日 利根郡町村議会議員・議会事務局長  
 研修会  
 27日 小口資金融資幹旋審査委員会  
 " 議会運営委員会  
 " 全員協議会  
 28日 第9回尾瀬かたしな未来構想委員会  
 30日 猿ヶ京温泉まつり赤谷湖上火火大会

9月

3日 尾瀬かたしな秋の収穫感謝祭  
 実行委員会  
 4日 第5回議会定例会開会  
 " 議会全員協議会  
 (決算説明・補正予算説明)  
 6日 尾瀬かたしなまつり  
 9日 第50回福祉パレード  
 「知的障害者福祉月間記念行事」  
 10日 産業民教常任委員会  
 " 総務観光常任委員会  
 12日 第5回議会定例会閉会  
 " 鎌田地区再整備・役場移転整備に  
 関する説明会  
 13日 沼田花火大会  
 16~17日 檜枝岐議会との交流会

10月

3日 第90回利根招魂祭  
 4日 みなかみ町二十周年記念式典  
 5日 昭和の秋まつり  
 7日 片品村敬老会  
 8日 蕨市議会議員互助会事業  
 「わらびの森現地視察」  
 9日 日光市議会議長・事務局長来庁  
 10日 新ごみ処理広域化住民説明会  
 15日 尾瀬かたしなまつり実行委員会  
 (反省会)  
 17日 中学生議会  
 18日 片品村消防団秋季点検  
 20日 10月定例利根郡議長会  
 " 広域圏10月議員協議会  
 " 群馬県民スポーツ大会  
 利根郡選手団結団式



発行 片品村議会  
 責任者 高山悦夫  
 編集 議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)

## 議会広報編集特別委員会

委員長	萩原	正信
副委員長	星野	栄二
委員	飯塚	美明
委員	高山	悦夫
委員	後藤	眞平
委員	北澤	佳子

編集委員長 萩原 正信

今年の夏は、昨年にも増して暑い夏となり9月まで猛暑日が続いていました。そして、水不足により農作物に影響を及ぼしている地域もありました。それから、近年は線状降水帯の発生により災害となっているところも多くあります。片品村でも何度か線状降水帯の発生による警報がありました。大きな被害もなく安堵しているところでもあります。

9月定例会では、第5次片品村総合計画策定に向けたアンケート結果報告、計画の将来像について、また、鎌田地区全体の整備案の説明をいただきました。近年の著しい人口減少に少しでも歯止めとなるような計画となり、片品村に賑わいができる計画となることを願って編集後記といたします。

編集後記